



TOKYO
ROPPONGI
ROTARY CLUB

Weekly Report

「楽しもうロータリー！ファインコミュニケーションで」

東京六本木ロータリークラブ会長

令和5年4月24日発行 第749号

2022・2023年度 No.35

本日のプログラム

令和5年4月24日

卓話『都市から環境をデザインする価値とは』

NPO銀座ミツバチプロジェクト 副理事長 田中 淳夫様

場所:グランドハイアット東京

経歴

2011年

(株)紙パルプ会館 専務取締役役に就任、現在に至る

2006年3月

「銀座ミツバチプロジェクト」を高安和夫氏と共同で立ち上げる

2007年

特定非営利活動法人の認証受け、NPO法人銀座ミツバチプロジェクト副理事長就任

2008年～

「ファーム・エイド銀座」開催

2010年

農業生産法人・(株)銀座ミツバチ 設立 代表取締役社長就任（現在取締役）

2016年

NPO人銀座ミツバチプロジェクト理事長

2021年

NPO法人銀座ミツバチプロジェクト副理事長就任

「銀座ミツバチプロジェクト」活動の紹介

2006年春 銀座の周辺で働く有志たちが集まり、ビル屋上でミツバチを飼うプロジェクトがスタート。養蜂を通して、都市と自然環境との共生を目指すプロジェクト。蜂蜜はホテル、バー、スイーツ店、デパートなど銀座の地で次々に商品となり話題となる。2007年より銀座の屋上に「ビーガーデン」と称する屋上菜園1000㎡を超え、ここに繋がった地域の花木を植えて交流が広がる。最近はずを植えて焼酎を作り2016年グッドデザイン賞受賞。都心繁華街で地産地消が実現し世界からも注目を集め国内外から年間1,000人を超える視察が相次ぐ。ファームエイド銀座で全国の地域とつなが

り、福島の酒米を作り山口でお酒に醸し銀座で販売する6次化モデル等様々な実例が誕生する。
2018年福島市荒井でソーラーシェアリング事業開始

著書

「銀座ミツバチ物語」「銀座ミツバチ物語part2」時事通信社、
「銀座・ひとと花とミツバチと」共著・CMEコデックス、「新銀座学」共著・さんこう社
「銀座の会社の感性マーケティング」共著・同友館

受賞

「あしたのまち・くらしづくり活動賞」財あしたの日本を創る協会2006年
「eco japan cup2008」ライフスタイル部門 元気大賞 2008年
「環境大臣賞」 授賞 2010年6月
農林水産省「フードアクションニッポン研究開発部門」入賞 2011年12月
農林水産大臣より「食と地域の絆づくり」優良事例として表彰受賞 2012年4月
銀座産芋焼酎「銀座芋人」がグッドデザイン賞受賞 2016年11月
福島民報社より県外初団体として「ふくしま産業賞・銀賞」受賞2020年12月

クラブからのお知らせ

令和5年4月17日

会長挨拶

皆様こんにちは。ひどい黄砂も週末の雨が流してくれましたね。

さて、先週、4月11日・12日は六本木ロータリークラブの親睦旅行で出雲に出かけ、無事に戻りました。出雲でも黄砂で空にモヤがかかったようなときもありましたが、全般的にお天気に恵まれ、当初の目的である「親睦」と「他クラブとの交流」を果たして参りました。バナーの交換もして参りました。詳細は別途親睦旅行報告でお知らせします。

本日は、オーレリウス・ジーカス駐日大使による「リトアニアの魅力」についてお話を伺うことができますね。とても美しい国であると聞いています。大変楽しみにしておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

(記:今村会長)

幹事報告

本日の報告は3つです。

- 2022-23年度 職業奉仕委員会活動
「職業奉仕セミナー」のご案内 『100年企業に学ぶ職業奉仕とは』
【日 時】2023年5月12日(金) 15:00～18:00
【場所】国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟417号室
【対 象】ロータリアン、インターアクター、ローターアクター、ロータリーに興味のある方
【登録料】3000円 登録締め切り4月末日まで。
本日、皆様のBOXにチラシを配布しましたのでご確認ください。
- 国際ロータリー第2750地区第43回地区ローターアクト年次大会開催
【日時】2023年6月3日(土)
一次会 12時30分～18時 閉会(予定)
二次会 19時～21時 終了(予定)
【会場】学校法人メイ・ウシヤマ学園ハリウッド美容専門学校 ハリウッドホール
【締切】5月8日(月)
- 3月開催案内をお送りいたしました「RI会長杯ワールドゴルフ大会」が中止となりましたのでお知らせさせていただきます。

(記:谷口幹事)

各委員会報告

青少年奉仕委員会報告

幹事報告にも御座いました国際ロータリー第2750地区 第43回地区ローターアクト年次大会開催につきまして補足させていただきます。

今回の開催日は、2023年6月3日（土）で、会場は六本木ヒルズのハリウッド美容専門学校 ハリウッドホールで、式典の部は開会13時 閉会16時、懇親会の部は開会16時 閉会18時となっております。

大会テーマは、「未来をソウゾウしよう」とし、ローターアクトの活動を知っていただく場という従来の主旨の他に、ロータリーの加盟クラブとなり新たな立場にいる「ローターアクトクラブ」や、そこに身を置く「ローターアクター」の未来をロータリーファミリーの皆様と一緒に考える場にもしたいとのことです。

式典登録料は4000円、懇親会登録料は6000円となっております。

新たな一歩を踏み出したローターアクターを応援する意味でも、皆様のご参加・ご登録をお願いしたいと思いますので宜しくお願い致します。

(記:平川青少年奉仕委員長)

その他報告

次年度幹事報告

本日例会終了後、4階タイムにて次年度理事予定者会議を開催いたしますので次年度理事及び理事会構成メンバーの皆さまはお集まりください。

今週水曜日に地区研修協議会がZOOMにて開催されます。既にお声がけさせていただいた皆さま、お忙しいところ申し訳ございませんが参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

(記:三田次年度幹事)

ワイン同好会報告

4月3日石上会員のお寺、光明寺におきまして約3年半ぶりにワイン同好会が開かれました。

今年は、桜の開花が早かったですが新緑と名残の桜を借景に、33名の出席で大盛況でした。

料理は、西麻布のビストロ Ma Cuisine（マ キュイジーヌ）03-6455-4426にケータリングをお願いし、美味しいお料理とともに会員からの差し入れも含め13種類のワイン（計32本）を楽しみました。大変盛り上がり楽しい時間を過ごしました。





(記:ワイン同好会 中島会員、秋津会員)

表彰報告

齋藤明子さんにポールハリスフェローの表彰がありました。



浅田豊久さんがバギオ基金から表彰されました。



親睦旅行報告

令和5年4月20日

4月11日・12日に行なった出雲への親睦旅行の報告です。同行者を含め総勢26名での旅行でした。コロナ感染対策も明け、のびのびと人とお話ができる、嬉しい時間でした。

【1日目：出雲の街の印象と賑やかな親睦会】

お昼ごろ出雲縁結び空港に到着し、そのままバスで出雲大社前に向かい「荒木屋」というお店で腹ごしらえをしました。



やおよぎの神々が集まる出雲の街並みはとても静かで、塵一つ落ちていない綺麗な街でした。出雲縁結び空港に到着しそのままバスで出雲大社に向かい、荒木屋というお店で美味しい出雲そばを頂きました。夜の懇親会には岩成さんのお父様である大社ロータリークラブの岩成健治様もご参加くださり、出雲大社でご神酒として使われている日本酒2本の差し入れまで頂き、皆でご相伴に預かりました。ひさし振りに大勢でマスクを取っての親睦会は和気藹々とし、親睦委員会の準備してくれたユーモアあふれるゲームを楽しみ、ため込んだエネルギーを発散しました。皆が笑顔でした。



【2日目：出雲大社で正式参拝】

正式参拝はシンプルな中にも凜とした佇まいのご本殿の前でお祓いを受け、六本木ロータリークラブメンバーの健康と益々の繁栄をお願いしてまいりました。現在の出雲大社教の権宮司（ごんぐうじ）である千家隆比古（せんげながひこ）様のお話を伺えたことも岩成さんのお父様のご手配でした。ご縁に感謝するばかりです。



【大社ロータリーに25名でメーキャップ】

大社ロータリークラブは会員50名前後のクラブで様々な職種の方々が集う、あたたかく穏やかなクラブでした。到着すると例会前にお弁当を頂くシステムになっており、会員の方が社長を務めていらっしゃる仕出し屋さんのおいしそうなお弁当を頂きました。わざわざお忙しいなか、社長がご挨拶にいらしてくださいました。



例会では、多久和会長とバナーの交換をさせて頂き、末永くご縁が続くことを願いました。卓話は、我クラブの浅田豊久さん（バギオ基金現会長）による「バギオのこれから」についてのお話です。大社ロータリーの方々も熱心にお聞き

になっていました。



【末永くご縁が続きますように】

例会が終わると皆で屋上に上がって、出雲大社の風景を借景に写真撮影です。会員の写真館からプロのカメラマンがお越しくださり、本格的な撮影でした。写真が出来上がるのが楽しみです。帰りは商工会の建物の外まで会員の方々が出て来てくださり、盛大にお見送りを頂きました。短い時間でしたが、とてもリラックスさせて頂き、賑やかにご縁を紡ぎました。

岩成さんとお父様の岩成健治様が繋げてくださった大社ロータリークラブと六本木ロータリーのご縁が末永く続きますように。

心が温まる旅でした。さあ、次はどちらに行きましょうか！

(記:今村会長)

2022-23年度 第10回理事会議事録

令和5年4月3日

日時: 2023年4月3日(月) 13:35-13:55
場所: グランドハイアット東京4F「ラベンダールーム」
出席者: 〈理事〉今村・鈴木・高倉・高柳・谷口・鳥居・松島・安井(悦)
〈理事会構成メンバー〉岩成・柏原・小篠・堀井(議事録)・三田
欠席者: 山中・日下部

(敬称略)

総数(9名)の過半数以上が出席のため、当クラブ細則第4条第5節により、理事会は成立した。

【審議事項】

①新会員候補者承認の件

谷口幹事より、新入会員候補者として宮下永二氏の会員選考委員会における審査の結果、同候補者の入会を支持するとの報告がなされた。職業分類は「製造業」で、業種は「E-6 製造業 日曜雑貨品」。これらを踏まえて、審議した結果、同候補者の入会を理事会として承認し、これを受けて、細則11条1節⑤に従い、事務局から、宮下氏の入会に関する告示が会員各位に対してなされ、その後10日以内に会員から書面で異議が出なければ、入会金及び年会費の納入により入会されることとなった。

【報告事項】

①米山奨学生受け入れの件

谷口幹事より、2月の第8回理事会において当クラブでの受入れを承認した米山奨学生のインド出身・東京農業大学大学院1年生PARMINDER(パルミンデル)さんにつき、その受入れ期間が2023年4月～2024年3月ではなく、2023年4月～2025年3月ということが判明した、との報告があった。重要事項であるのも関わらず事後の訂正報告となりお詫び申し上げます。カウンセラーである柏原会員、安部会員の2名は了承済み。

卓話『シェイクスピアと私』

令和5年4月3日

パストガバナー、地区研修リーダー 服部 陽子様

ウィリアム・シェイクスピアはイングランドの劇作家で、詩人でもあり、世界の演劇を代表する人物と言ってもいいのではないかと思います。

シェイクスピアは生涯に37の作品を残しました。作品をジャンルで分けると、悲劇と喜劇に分かれます。有名なものでは四大悲劇と言われる「ハムレット」「オセロ」「リア王」「マクベス」がありますが、悲劇は主人公やその周辺の人たちが次々に死んでしまいます。一方で喜劇「夏の夜の夢」「ヴェニスの商人」「十二夜」などはハッピーエンドの作品です。またロマンス劇と呼ばれるジャンルもあり、ロマンスと言っても男性と女性の恋愛のようなロマンスではなく、離散してしまった家族や恋人が苦労をして最終的には結ばれて幸せになるというお話で、悲喜劇と呼ばれることもあります。また「ヘンリー六世」のような歴史劇、道徳的なジレンマや社会問題に関わる内容の問題劇などがあります。もちろんこれはシェイクスピアが考えたジャンル分けではなく、のちに演劇の評論家たちが分けたものです。



シェイクスピアの作品の中で題材として圧倒的に多いのは、王位継承を巡る争いです。しかしテーマとして描いているのは愛や憎しみ、欲であり、人間とは何かというテーマが全ての作品に渡っていると言えると思います。400年以上経ちますが、どの時代であっても人間は同じで、だからこそ何百年経っても世界中で読まれている作品なのだろうと思います。

シェイクスピアの登場人物はとにかくパワーやエネルギーがあり、凄まじい人間力で生き抜く人々です。皆すごいエネルギーを持って一生懸命生きていますから、演じているとそのパワーがもらえるような感じがしています。また作品に描かれている世界は宮廷が多いのですが、それと相対するかのように森や海などの自然の世界が出てきます。宮廷の中で人間関係に傷ついたり疲れたりした登場人物が行く場所は決まって森で、そこで人間性の回復や、違った人生を歩むなど、対比される作品が多いです。そして職人や商人などの一般人の世界が王宮の世界と一緒に描かれています。こうしたバックグラウンドの違う人たちが作品の中で巧みに交流をして繋がりを持ち、ひとつの物語を織りなしていくところが非常に興味深く、今よく言われているダイバーシティと並び、個々の能力を発揮させるというインクルージョンの世界が具現されているのかなと感じています。多様な人々、違って見えても結局人間は皆同じなんだというシェイクスピアの声もまた聞こえてきそうな気がします。

わたしは学生時代に英語劇のクラブに入っており、クラブ活動として英語劇でシェイクスピアをやっていました。なんとなく身近に感じて楽しいなとは思っていましたが、卒業してからはシェイクスピアとは離れた生活でした。今から20年ほど前、シェイクスピアを専門にやっている劇団の公演を観に行き、社会人向けのクラスに誘われて半年ほど日曜日に通っているうちに、劇団の演出の先生から舞台に出てみないかというお話をいただき、活動することになりました。しかし劇団の人と一緒に練習するのは大変で、辞めようかなと思っていた時に劇団の看板である平澤さんという役者さんと出会い、社会人を対象にしたことをやりたいというお話を聞き、2011年に平澤シェイクスピア・アカデミーを開設しました。1年半くらいかけてひとつの作品を練習し、発表をするクラス、朗読を中心としているクラス、アフタヌーンティーをしながらシェイクスピアを読んで楽しむクラスなどがあります。2015年にグローブ座のハムレットの日本公演を観に行った際にハムレットを演じたラディ・エメルワさんと、ホレイショを演じたマシュー・ローマンさんとお話をする機会をいただき、是非グローブ座でやったらいいじゃないかと言っていました。もちろん夢のまた夢ですが、二人との出会いで火がつき、もう少し本格的に取り組みたいと思うようになり、2016年にウィリアム・シェイクスピア・フェローズを立ち上げました。サントリーホールで第一回公演を行い、コロナ禍ではありましたが2021年にはサザンシアターでアントニーとクレオパトラの公演を行いました。ウィリアム・シェイクスピア・フェローズは、一部の人だけが楽しむのではなく、プロとアマが一緒に劇を作ることで広く一般の人が楽しめるようにしたいという思いから始まったもので、皆様から支えていただき、2022年に一般社団法人となりました。2024年の秋には「冬物語」という作品を予定しています。

わたしがシェイクスピアの劇を続けている理由は、日常とは違う別世界に入り込み、心身ともにリフレッシュができるからです。自分だけの時間が生活の中にあるということは、心にも体にもいいのではないかと思います。またシェイクスピアのセリフには気付きがたくさんありますし、誰かひとりだけが一生懸命やっても、それは劇として面白いものにはならず、皆で力を合わせるということの楽しさが大きいかなと感じています。さらに、セリフの稽古のために

体中から声を出すということが自分の健康にも繋がっているのかなという気がしています。そして実際に舞台上に立った時、役の気持ちになって涙を流した時、一緒に舞台上に立つ人が同じように受け止めてくれること、またオーディエンスの方も一緒に涙を流してくれている、その一体感や喜びは、他では感じるできないものだと思うのです。

アンディシュ・ハンセンというスウェーデンの精神科医が書いた「スマホ脳」というベストセラーには、人と実際に会う時、次に演劇鑑賞をする時に、他人の考えや気持ちを本能的に理解するミラーニューロンという神経細胞が活発になると書かれています。他者を重んじる、他者のために奉仕活動しようというわたしたちロータリアンにとっては、演劇鑑賞は大変良いのではないのでしょうか。

ロータリーのビジョン声明はご存知の通り、わたしたちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。大事な奉仕の7つの重点分野は生きていくうえで最低限必要なことで、世の中でSDGsと言われるよりもずっと前から、ロータリーはそれに気付き、行動をしてきました。究極の目的は世界平和の実現ですが、衣食住が満たされてすぐに世界平和になるのかというと、やはりそれだけでは難しいです。そこに人間の豊かな心があってはじめて世界平和が実現すると思います。人の命を大切に思う心、他人のことを自分のこと以上に大切に思えること、人の幸せを願えること、困難な状況でも勇敢な気持ちを持てること、あるいはいつも明るく楽しい気持ちでいられること。体に栄養を与えるのと同じように人の心にも栄養が必要で、それは絵画や音楽、文学かもしれませんが、そういうものが人の心を豊かにすることができるのではないかなという気がします。世の中はSDGsということが叫ばれていますし、侍ジャパンが優勝すればスポーツは素晴らしいと言われますが、その結びつきがもっともっと深く考えられてもいいのではないかと思いますし、ロータリーはそれができるところだと思っています。人を育てることができる、また芸術や文化に触れる機会を作ることでもある、実際に皆でやることもできる。それがロータリーの仕事なのではないかと考えています。

最後に、わたしの一番好きなシェイクスピアのセリフをご紹介します。「ヴェニスの商人」ポーシャのセリフで、わたしの人生を応援してくれているような気がします。

ほら、向こうに見える灯りは家の広間の蠟燭よ。あんな小さな灯がこんな遠くまで光を放つとは。きっとあのよう、いい行為は悪い世の中を照らすのね。

ご清聴ありがとうございました。

卓話『将来の人材像：インターナショナルスクールブームから考える』

令和5年4月10日

ジャーナリスト、G&Gインターナショナルスクール顧問 酒井 綱一郎様

今、日本はインターナショナルスクール（以下、インターと略します）ブームです。最近の報道から拾ってみます。

CEAグループは、国際的なスノーリゾート・ニセコに隣接する北海道・共和町にインター校を設立すると発表。

東京・港区の『麻布台ヒルズ』に渋谷教育学園の「ブリティッシュ・スクール・イン東京（BST）」の幼児・初等教育科キャンパスが移転へ。

英国の名門パブリックスクールは、岩手県で開校した「ハロウインターナショナルスクール安比ジャパン」に続き、「ラグビースクールジャパン」を千葉県柏市に開校へ。

英国の古参ボーディングスクール「マルバーン・カレッジ」は、小中高生が通う「マルバーン・カレッジ東京」を9月、東京・小平市に開校へ。

全国各地でインター開校ラッシュです。これは、地域活性化、地方創生の観点から自治体が誘致している面がありますが、日本の公教育と一線を画すインターへの期待が高まっているからでもあります。本日は、インターの現状と教育の内容から、将来必要とされる人材像について考えたいと思います。

日経出身で、主な仕事がテレビやラジオのコメンテーターをしている私がなぜインターについてお話を差し上げるのか。その理由は3つあります。

一つ目の理由は、企業のオーナーのお子さん、お孫さんらの進学、就職の相談に預かるからです。現在、いくつかの中堅中小企業オーナーのアドバイザー役を務めさせてもらっています。経営戦略や事業開発がメインの相談業務ですが、子弟の進学や就職のことも相談されます。昨年秋から今年に入って4名のご子弟を担当しました。



おひとり、大学生でした。大学を出た後の就職活動で、面接訓練を徹底してやりました。私は20数年以上、テレビ、ラジオに出演しているので、少しは話し方をお伝えできるのでしょうか。大学生の方は、最初はロボットみたいなぎこちない答え方でしたが、潜在力がある学生さんで、みるみるうちに上手になりました。結果、就職人気ランキングトップ10に入る企業数社から内定をもらい、この4月から社会人としてスタートされています。

次のお二人は、今日の話のインターの小学校へのお受験です。お子さんの指導ではなく、保護者へのアドバイスです。「なぜこの学校にお子さんを入れたいのか」を書く英文の書類についてご指導させていただいたり、面接のポイントをお伝えしたりしました。記者出身ですので、わからないことがあると、ストレートにその学校の入試担当の先生にお電話しました。「親は英語を話せないとダメか」などです。どこの学校も非常にオープンで丁寧に答えてくださいました。英文願書については、私の英語力は心もとないレベルですので、英語ネイティブの妻に頼りました。結果、お二人のお子さんは第一志望のインターに合格しました。

とてもうれしいので申し上げますと、現在、3戦3勝。WBC（ワールドベースボールクラシック）の日本野球チームと同じで負けはありません（笑）。

現在、4人目の指導を始めています。この方は医学生です。医学部の学生が病院に就職するにあたり、一般大学の就活生と同じような面接があることを私は知りませんでした。

「私の子どもの大学入試の面倒を見てくれないかしら」という方がおられたら、残念ですが、ペーパーテストだけはお子さん、お孫さんがしっかり勉強していただくしかありません。私は、国際基督教大学（ICU）の理事をしていて、少しばかりは大学入試のこともわかっているつもりですが、入学試験はどこの学校もしっかり勉強して学力を伸ばすのが王道です。

あと2つ、インターに関係している理由があります。一つは、インターを立ち上げた起業家の知合いが多く、彼らの動機をよく知っていることです。3つ目の理由は、私の肩書に「GGインターナショナルスクール顧問」とあるように、実際にインターの経営に関わっているからです。

本日の結論ですが、なぜインターブームなのか。時代がコペルニクス的転換の時を迎えているからです。チャットGPTを代表する高度な人工知能（AI）時代になると、人間に求められる素養、人材像は大転換が起きます。また、日本の少子化はすぐには解決せず、縮小する日本市場には頼れない。海外に市場を再び求める時代になる。21世紀型グローバルリズムの到来です。そんな変革の時代に従来型の教育ではリーダーは育成できません。

大前研一さんが経営している「株式会社ビジネス・ブレイクスルー」という会社があります。ここは、ビジネス・ブレイクスルー大学が有名ですが、実は未就学児から高校までのインターの学校としては最大手です。ブレイクスルー社は東京都内にインター4校、合計10カ所のキャンパスを展開しています。

大前さんと二人三脚で経営をされている柴田巖社長さんにお話を伺う機会がありました。柴田さんが紹介してくれたのですが、大前研一さんは昔から「英語とITとファイナンスが、三種の神器である」と言ってきたそうです。確かにビジネスリーダーは、この3つが当たり前にできることがグローバルに活躍する条件でしょう。私は、この3つに、「プレゼン力」「知的探求力」を合わせて「五種の神器」と呼ばせていただきます。そして、ITは、デジタルだけではなく科学技術も含めたいと思います。

この五種の神器は、現在の公教育からは学べません。グローバルリーダーの育成は、公教育には頼れません。

慶應義塾大学教授でヤフージャパンやLINEを傘下に置くZホールディングスのシニアストラテジストを務める安宅和人さんが『シン・ニホン』という名著をお書きになっています。AI×データ時代における日本の再生と人材育成について書いた本です。

そこに次のように書かれています。「現在の初等教育は、漢字の書き取り、計算ドリルに相当量のリソースを投下している。しかし、これらは今やキカイがほぼすべてやるのが当たり前のことだ」。

次のようにも記述しています。「日本では軍事訓練かのように『気をつけ！』『前ならえ！』、そして制服と過度の校則の強制が日常的に行われている。日本の初等・中等教育は、意識するとしないとにかかわらず、総じて“マシン（機械）”として子どもを育成している」。

「マシンを育成する日本の公教育」という意見に賛成するかしないかは別としても、AI時代、新グローバル時代を生き抜くリーダーを育てる教育を公教育に期待するのは無理ではないでしょうか。わが子をグローバルリーダーに育てたいのなら、インターで学ぶのが一つの答えです。インターブームは、そんな時代背景で起きていると見てはいかがでしょうか。

ちなみに、アメリカには優れた公立学校がたくさんあります。全米の優秀学校ランキングには私立学校に混じって公立学校がランクインしています。実は、これには日本とは異なるカラクリがあります。日本の場合、国と自治体の税金が

ほぼ平等に各公立学校に配られます。アメリカの場合は、主に固定資産税で公立学校の費用をまかっています。私自身、アメリカに住んだときに実感しましたが、金持ちが住む地域は固定資産税が高く、不動産が高い。その分、学校に回る資金が豊富で、先生の給与が高いし、学校の設備は充実していました。

インターの目指す目標は何か。事例に入りましょう。グローバルリーダーシップ教育を目的に設立した学校があります。軽井沢に日本初の全寮制高校としてできた「インターナショナル・スクール・オブ・アジア軽井沢」です。今は、「UWC ISAKジャパン」と名乗っています。ISAKでは世界80カ国から集まった200人ほどの学生が勉強していますが、日本人は3割程度、残りは外国人です。授業は英語で、進学先はイエール大学、ブラウン大学、ペンシルバニア大学などです。全学生の7割に経済状況に応じた給付型奨学金を支給してきたのが大きな特徴です。

創設者の小林りんさんは、外資系金融機関や国連児童基金（ユニセフ）などを経て2014年にISAKを設立しました。設立当時、なぜインターの高校を作ったのか、小林さんの思いを伺ったことがあります。答えはこうでした。

「32歳でユニセフの職員としてフィリピンに赴任しました。貧困層教育を担当したが、貧富の差を是正するために現場で頑張るだけでは問題は解決しない。貧困をなくすその国出身のリーダーの育成が大事だと感じました」と。

インターを設立する多くの起業家の共通した問題意識は、グローバルリーダーの育成です。

少し、私が経営に参画している「GGインターナショナルスクール」を事例にインターの教育の実際を見てください。ご興味があれば、ホームページを見てください (<https://ggis.jp/>)。

GGはどんな意味があるのか。Global Genius、世界的に傑出した人物を育てるという意味を含めました。クリスチャンスクールですので、God's Gift、神様からいただいた才能という意味も込めています。

GGは品川区の武蔵小山、不動前、戸越銀座に学校があり、品川区や目黒区に住むファミリーが多いです。現在、1歳から小学校入学前の未就学児が学バインター部門と、小学生などのアフタースクール部門があり、学んでいる生徒数は200人ほどです。

特徴的なのは、通常8時から18時まで、延長すると20時まで預かる保育園型のインターです。一般的な未就学児のインターは幼稚園が多く、通常9時から14時ぐらいです。GGはお預かりしている間に、スイミングスクールで泳ぎ方を習ったり、道場で体を鍛えたりの習い事にも通えるオプションがあります。ですので、共稼ぎのパワーカップルのファミリーが多いです。

学費ですが、23区内にあるインターだと、授業料が20万円から30万円ぐらいが多いですが、GGは16万円ぐらいからです。「GGテック」(<https://ggtech.jp/>)というプログラミングを習うコース、さきほど説明した習い事コースなどがあり、その選択によって大きく変わってきます。ただ、富裕層向けのインターは目指していません。現在、学校数を増やそうとしていますが、手ごろな場所がなく、かなりの数の申し込みをお断りしている状態で、申し訳なく思っています。

では、さきほどの「五種の神器」である「英語、科学技術、ファイナンス、プレゼン力、知的探求力」を日常の授業の中でどう身に付けているかです。

GGの入学説明会に来られる親御さんから尋ねられた質問の一つは「英語はできるようになりますか」でした。こうお答えしています。「英語を学ぶ学校ではありません。英語で学ぶ学校です。ほぼネイティブになります」と。最近は、「GGに行けば英語が話せるようになる」と親御さんの間で口コミが広がっているので、この質問はあまり出なくなりました。百聞は一見にしかずですので、生徒の英語を聞いてみてください。帰国子女でない生徒さんでも、アフタースクールに通って、ほぼネイティブに育っています。

探求力の育成については、とにかく体験、体感を大事にしています。科学技術の学びは、楽しく実験、そして実験です。砂糖の量が飲み物の重量にどのくらい影響するかをテストしたり、小麦粉、油、塩を混ぜて小麦粉製の粘土をつくれます、体験学習ですから、世界の文化について学んだら、大使館を訪問しました。恐竜について学んだら博物館へ行き、化石に触れました。

日本の教育はこれまで、問題を解いて解答を得る教育でした。しかし、問題を解くのは機械、人工知能に任せればいいわけです。AI時代の人間は、自ら課題を見つけ出し、問題を設定して、解決策を導き出すことが大事です。

例えば、『桃太郎』を題材にしてみます。従来型の答えを出すやり方なら、「桃太郎はどんな動物を引き連れしましたか？」と記憶力を試すテストになります。しかし、探求型学習となると、まず、子どもたちに「気になる点」を挙げてもらいます。「桃はどんな大きさ？」「桃といっしょに桃太郎も切られない？」「犬や猿やキジは、鬼に勝てる？」など、疑問が続出するでしょう。さあ、それらの疑問を解決するためには、どんな材料を集め、どんなふうに考えればいいのか？となるわけです。

そのとき、科学（S）、技術（T）、工学（E）、数学（M）、そして教養の知識を駆使して、どう考えればいいかを総合的に探っていきます。これを「STEAM教育」と呼び、GGの教育理念にしています。実は、さきほどの桃太郎の題材は、経済産業省の「未来の教室 STEAMライブラリー」から拾ったもので、役所もSTEAM教育の普及に力を入れています。なお、STEAMのAは「Art」の略ですが、芸術という意味よりも広い「Liberal Arts」のことで、日本語だと「教養」と訳するのが適切です。

GGでは、プレゼンが日常活動になっています。ほかの生徒さんの前で話し、実験をやってその結果を発表したり、年1回のスピーチコンテストで大きな会場の壇上に立つ経験を持つわけです。

GGの現場はいかがだったでしょうか。英語で学び、知的探求力で課題を設定し、科学技術を武器に考え、プレゼン力で相手を納得させる。これがGGで学べる素養です。ファイナンスについては、金銭管理を身に着けますが、本格的なファイナンスの勉強は小さいお子さんには無理なので、大学、大学院にお任せします。

最後に、インターの将来への課題について触れておきたいと思います。金融庁が2021年に「日本及び主要国におけるインターに関する調査」報告書を出しました。実質的には、ボストンコンサルティンググループに委託して調べた内容です。

なぜ金融庁がインターなのか。政府は「世界に開かれた国際金融センター」としての地位の確立を目指すことを閣議決定しています。金融に長けた高度外国人がたくさん日本に駐在してもらうことが必要になります。しかし、日本の教育水準は「並」レベルだというのが、世界のビジネスリーダーたちの共通認識です。以前、インドの優れたIT技術者を日本に招へいしたが、「子どもの教育に差し障る」という理由で断られた事例を日経ビジネスで紹介したことがあります。それは今も変わりはありません。

金融庁のレポートは、高度外国人材が期待通りの教育内容／水準の学校に子弟を通わせられていないという問題について3つの課題があると指摘します。

- インターについての情報が少なく、高度外国人材が自身のニーズに合った選び方ができない。
- そもそも、質・実績に優れたトップ校が少なく、混在型のインターに通うことになってしまう。
- 日本人子弟にも対応が必要である混在型のインターにおいて、教育水準が低い／合っていない。

高度の金融人材が望むのは、インターのトップ校ですが、数が少ないと指摘します。

どうしてトップ校が少ないと判断しているかと言えば、金融庁レポートは、欧米のトップクラスの大学にどれぐらい入学しているかの学校別の実績を出しています。それによれば、ハーバード大学やイエール大学、ケンブリッジ大学などに入学させている実績が高いインターは5校。ASIJ（アメリカンスクール・イン・ジャパン）、西町インターナショナルスクール、KIST（インターナショナルスクール東京）、セント・メリーズ・インターナショナルスクール、清泉インターナショナルスクールの5校です。

私が教えたお子さんはこの5校のどこかに合格しました。GGは小学校前までの教育ですので、小学校は親御さんが自分たちで探す必要がありますが、ほぼこの5校プラス慶応の初等部の試験を受けられるお子さんが多く、ほぼ合格しています。GGでは、アフタースクールが充実していますので、公立の小学校に通い、英語はアフタースクールで学び続けるお子さんも結構います。

話を戻すと、金融庁も質量ともにインターが少ない課題を民間にだけ押し付けてはいません。インターに対する政府の支援が少ないという制度・仕組み上の課題があると指摘しています。果たして政府の誰がその課題を解決するのか、推進役がいないのが現状です。

現在、地域起こし、地方創生的意味合いから地方を中心にインターの設立ラッシュになっていますが、世界のインターと伍していける教育水準を確保できるかが、今後の大きな課題になっています。

ご清聴をありがとうございました。

ニコニコBOX情報

安部 義彦さん

出雲ツアー、おかげで素晴らしかったですね。小篠親睦委員長、堀井さん、岩成さんはじめ、皆さまありがとうございました。オーレリウス・ジカス大使閣下、ご多忙中の卓話ありがとうございます。

浅田 豊久さん

大社ロータリークラブ訪問、お疲れ様でした

堀井 健一さん

出雲そば、おいしかったです。

池田 泰義さん

オーレリウス・ジカス様本日の卓話とてもたのしみにしております。よろしくお願い致します。

今村 道子さん

無事に親睦旅行から帰って参りました。身も心もきれいに素直になっています。

大橋 裕治さん

オーレリウスジカス様、本日の卓話大変ありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

齋藤 明子さん

久しぶりに例会に出席いたします。みなさまお元気でしたか？私も元気にすごしております。

芹澤 ゆうさん

はからずとも先週12日に駐日仏大使閣下より、レジオンドヌール・シュバリエを叙勲いたしました。これも家族、そして皆様のおかげさまでございます。

鈴木 聡子さん

今村会長、谷口幹事、出雲ツアー楽しすぎました！親睦委員会の小篠委員長、堀井副委員長、素敵な企画をありがとうございました。そして何より岩成さん、今回はいろいろと本当にありがとうございました！

渡辺 美智子さん

出雲旅行、楽しかったですね。岩成さんはじめ、親睦委員の皆様、会長、幹事、お世話様でした。

4月17日 合計 37,000円 累計 1,174,500円

4月17日のお食事

東京六本木ロータリークラブ

Menu

Vegetable chowder, scallop, saffron
ベジタブルチャウダー 帆立貝 サフラン

Roasted beef tenderloin, red wine sauce
Celeriac, sautéed Brussels sprouts, bacon, roasted tomato
ビーフテンダーロインのロースト 赤ワインソース
根セロリ 芽キャベツとベーコンのソテー ローストトマト

Vegetable salad
野菜サラダ

Chocolate pudding, blood orange sherbet
チョコレートプリン"ボネ" オレンジサンギースシャーベット

Coffee
コーヒー

2023 年 4 月 17 日(月) 2 階 レジデンス バジル
グランド ハイアット 東京



4月17日の例会出席率(暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 36名(71%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 3名

※メーキャップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

令和5年5月8日

ケニア教育ファンド

場所:グランドハイアット東京